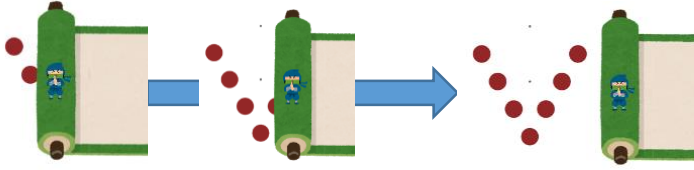



ICT 実践レポート

制作者 [恵那北中学校] 氏名 [中島 涼]

学年	第1学年
教材	第2章「文字と式」
活用したソフト・アプリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ GeoMathRoom 1年生「マグネットの合計数は？」 https://www.geogebra.org/m/apzbc3tm ・ ロイロノートスクール
活用したICT機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型モニター（教室備え付け） ・ iPad（生徒1人1台 教師用）
活動の実態	<p>「文字を使った式」の場面でICTを以下のように活用した。</p> <p>【活用1 導入場面】</p>  <p>・ 1辺の位置を全体で確認し、「1辺が○個のとき、マグネットの総数はいくつでしょう」と問いかけて、図をかいたり計算したりしてマグネットの総数を求めた後に、GeoMathRoomを活用して、視覚的な問題提示を行うことで、図全体が見えていなくても、1辺のマグネットの個数から全体の総数を求めた仲間の意見から、どうしたら求めることができるのかを考えさせた。</p> <p>【活用2 全体交流】</p> <p>・ 終末の交流場面では、生徒が自身の考えを言葉だけで伝えるのは難しいと考え、モニターに自身の画面をミラーリングし、書き込みながら発言を行った。専門用語を使わず説明を行う生徒に対して、生徒同士で「○○だよ。」という声があった。</p> 
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ マグネットの総数を求めるところが、クイズ番組みたいで面白かった。 ・ 1辺の個数を設定しているときに、総数を答えた生徒に対して、「なんでわかったの？」と1辺がわかれば総数が求められるということに気づくことができた。 ・ 仲間がどの個所を言っているのかを明確にとらえることができ、学びを深めることができていた。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型モニターか、生徒のiPadで画面共有を行うのか今後考えていきたい。 ・ 自身の考えをスクリーンショットを活用して、考えを残していくなど、より有効的なICTの活用を行っていきたい。